

スマイル タウン

2022
7・8
月

第320号

ひの社会教育センターは、市民のみなさまの
“やりたい”を実現し、「豊かなくらし」を応援する
施設として、1969年に日野市と勤社会教育協会が
協定書に基づいて設立しました。
今月もセンターで生きがいづくりをされる沢山の
市民の方々の活動をお伝えします。

おとな講座『フルート』



リズムカルに重なる美しい音色

- シリーズ 「SDGsを自分ゴトにしてみた！」⑧
- 表紙の講師は…フルート教室 横山祐子 先生
- 2022年度 “まなび” ご案内
- センターからのご案内 賛助会・寄付お礼

SDGs を自分ゴトにしてみた！

2030年に向けた国際コンセンサス「SDGs」。センターのある日野市もSDGs未来都市に指定され、様々な所で17個の目標ロゴマークを目にするようになってきました。SDGsの目標はどれもシンプルでとても大切そう。しかし、この目標を達成するには自分たちに何ができるのでしょうか。

今年度はひの社会教育センターの職員がそれぞれ関心のあるテーマを取り上げ、「自分ゴト」としてとらえ、その分野の実践家や専門家と対談しながらSDGsの取り扱い方について考えていきます。



シリーズ 「SDGsを自分ゴトにしてみた！」⑧

16 「平和と公正をすべての人に」

今回は認定NPO法人 AAR Japan「難民を助ける会の種積武寛」さんに、6月19日(日)緊急企画「難民を知る、考える。」の講座でご登壇いただきました。その開催報告と併せレポートします。

AAR 難民を助ける会とは？その活動について

70年代後半、インドシナでの戦乱の中、ポルトにぎゅうぎゅう詰めになって周辺国へ流出し、「ボートピープル」と呼ばれて日本へも流れ着いていた難民の人たちを助けようと始めた活動。

日本国内でも、大規模な自然災害の際は緊急支援を行い、東日本大震災後の福島での活動は現在も継続中。

難民とは？あなたの難民のイメージは？

どこか全く違う国の人が群れを成し、どーっと押し寄せてくる、そんなイメージだと、難民の方を受け入れることに怖さを感じてしまうかもしれない。

では、国際的に合意されている「難民条約」でいうところの「難民」とは…

『自分の国に戻りたいが、戻るとよくないことが起きる。自分の国の政府にも助けを求められず、逆に危害を加えられる可能性がある』状態にある人のこと。

紛争や迫害などが原因で故郷を追われた人々のうち、国境を越えて海外に逃れた人々を「難民」、自国内の他の地域に避難している人々を「国内避難民」と呼ぶ。その他にも庇護を希望している人々も合わせると、総数は2020年末時点で830万人にのぼる。(ウクライナから避難した人々が入っていない。)

近年ニュースでも話題になり認知が高まった

ここ1〜2年の間、オリンピックやサッカーのワールドカップ予選が日本であり、ミャンマー代表の選手が母国の軍事政権に反対の態度を示したうえ、帰国しないことを選び難民申請をしたことや、ベラルーシの陸上競技選手が帰国を拒否してポーランドに亡命したことなどが話題になった。

また、アフガニスタンでは反政府勢力タリバンが首都を制圧、大統領を追放して国内の混乱が深まったことや、記憶に新しいロシアによるウクライナ侵攻などがあり、日本でも難民に対する認知が高まったといえる。

実際のAARの活動は？

シリア難民、ミャンマーから避難しているロヒンギャ難民などの支援。そしてアフリカでは巨大な難民キャンプの中で、未来につながるステップとするための中学校設置を支援してほしいとの要望を受け、取り組んでいる。

日本には難民の方はいるのか。

1978〜2021年の40年間で16,000人以上の方を受入れた。これは年間で数十万人を受け入れている欧米に比べると、桁が違う。難民を受入れるための審査基準は各国に任せられているが、日本の難民審査が厳正なものであることも要因の一つ。

現在、日本には外国にルーツのある方が200万人暮らしている。これには大人も子どもも、仕事で滞在している方も、難民の方もすべてが含まれる。うち100万人は仕事をし、納税し私たちの普段の生活を支えている。



↑写真提供：AAR Japan
トルコへの入国を待つ、シリア国境の行列（現在は閉鎖）

外国人について「まるで日本にはいないかのように考えるのはやめよう」ということが叫ばれている。

難民の方が直面する問題とは

2部は「みんなで考えよう」というワークで、自分だったらどうするか？を考え、話し合う時間になりました。

(ワーク)シリアでの内戦から逃れ、難民となりトルコで難民として避難生活を送る家族の一員だったら…との想定のもと、参加者全員で、今後どうするかを「家族会議」しました。

(説明)トルコで難民キャンプに入れたのは1割未満。あとは知り合いを頼ったりして、町の中で暮らしている。シリアは元々、教育の程度も高く我々となら変わらないレベルの生活をしてきたが、ある日突然、戦争が始まり、もう10年続いている。しばらくはトルコ政府もシリアとの国境を開けて、難民の流入を容認していたが、今は閉鎖されている。

(課題)避難生活が長く続き、いつまで続くのかわからない状況で、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、こども二人の6人家族。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんは長らく避難生活に疲れていて早く自分の国に帰りたいと考えている。内戦は完全に終わったわけではないが、町によっては帰りが始めている。家族みんなで今後どうするかを考える。(選択肢)

- ・今いるところでごんばる
- ・他の国に行く
- ・自分の国シリアに帰る

選択肢それぞれのメリットやデメリットを出し合い、話し合いました。

・おじいちゃんおばあちゃんは帰りたいけど、帰っても完全に安全ではないかもしれない。

・家がどうなっているかわからない。

・分かれて暮らすことも考えてみる。まずは若い人が新しく他の国に行って、教育、仕事などつてを作る。この先に自立できる要素が強い方を選ぶ。

・命が長く生きられるかを判断基準にして、その次に、衛生、教育。まずは生きていくことが大事！

合理的な判断をして決断したいが、何が合理的かわからない。と、頭を悩ませつつ、なんと「みんなで他の国に行く。」という結論に至りました。

穂積…それが正解ということではなく、家族それぞれの判断です。今、皆さんが悩まれたように、当事者は日々真剣に考えながら生活しています。刻々と状況は変わり、お年寄りや年をとっていき、子どもたちは大きくなる、でも埒は明かない。紛争は終わっていないのを知りつつ自国へ戻る人もいる、状況によってはそうせざるを得ない、という場合もあるのです。

つづいて：
(ワーク2)

(説明) 学校に難民かもしれない子がきたらどうしますか？シリアから来たヌールちゃん。日本語はほとんど話せず、アラビア語を話し、イスラム教。自国には戦争で住めなくなりました。難民かどうか、ということは本人もよくわからない。

(課題) 日本の学校でヌールちゃんがどんなことに困るか、みんなと同じように学校生活を送るにはどんなサポートがあればよいか、考えてみてください。

・言葉、給食に困りそう。

・一緒に遊ぶ。友達になる。

・日本語を少しずつわかるようにサポート

・自分がヌールちゃんの言葉を覚える。

・シリア、イスラム教のことを教えてもらう。

ここで小6の参加者の子より、「わかってあげるとぼつり一言。大人が全員ハッとさせられました。」

穂積…こういうワークをすると、子どもは直観で本質を突きます。お友達をつくる、ということがまずは大事で、小さい子ども同士は言葉が通じなくても、お互いに自分の言葉を使って、勝手に遊び、何故か意思疎通をしています。大人になると急に壁を感じて、出来ないと思ってしまう。子どもたちにいつも教えてもらいます。

その後は参加者全員より、感想を言いました。

・情報が不足していること、自分から拾いにいかないといけないことが多い。

・毎日毎日ぎりぎりの選択をしている人がいるということを考えました。

・「難民」の方々を「難民になっている状態」と認識が変わりました。

穂積…1億人になろうかという難民問題をどうするか、と考えると大変ですが、ヌールちゃんのことを考えてもらったように、目の前のその子を出せようか、と考えると、なにかしら知恵がある日、自分の近くに急に居るかもしれない。政治的な決断や公的な制度ももちろん必要ですが、最後は皆さんのような市民の方の理解と協力が必要。ささいなことでもできることから始めていければいいと思います。

どこか遠い世界の話、と思っていた「難民」のこと。必要なのは想像力で、まずは『知る』ことが大事と、強く感じた講座となりました。

表紙の講師を紹介します！

『フルート』講座
第2・第4木曜日(10時〜11時)

講師 横山 祐子 先生

プロフィール

小学校の吹奏楽部にて、とても優雅そうで上品に見える素敵な楽器を吹いてみたい、という理由から、フルートを習い始めたという横山先生。中学・高校も吹奏楽部、音大に進み、その後はプロ奏者としてオーケストラやアンサンブルなど演奏会でも活躍されています。

またセンターでのクラスの他にも個人レッスンなどもされています。

教室の様子

楽器の女王といわれるフルート。リードを使わず、マウスピースもない、あるのは空気を吹き込むための穴だけという楽器。唇と舌を使い、空気を振動させて音を奏でます。

センターでの指導は12年になり、創設時に初心者から始めたという会員さんに伺ったところ、音が出るようになるまでが時間がかかり、次は3オクターブの音階を出せるようになるまで、また時間を要したそうです。皆さん、励まし合い、喜び合い、ステップを踏んできました。そうして声を掛け合えることや、人数が集まれば音が重なるようになり楽しさが増すことが、グループレッスンの良さだと思います、と先生もお話してくださいました。

先生に聞きました！

見た目重視で始めたフルートでしたが、音が出たことが嬉しく、自分でも少しずつ上達している手応えを得られた経験が、子供ながらにとっても貴重な時間だったと思います。

フルートの魅力は、なんといっても透明感のある美しい音、優しく温かみのある音、小鳥のさえずりのような、軽やかな音色だと思います。

息を直接音に変える楽器ですので、奏者によって出てくる音が違うことも魅力です。難しく思われがちな楽器ですが、一度皆さんにも音が出る楽しさを味わってほしいと思います。

皆さんの温かさがクラスに反映され、とても良い雰囲気です。自分の理想の音を求めつつ、楽器を吹く楽しさ、またアンサンブルでの音の重なりを楽しみお手伝いを、今後も最大限していきたいと思っています。

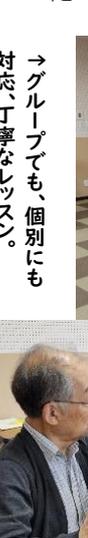
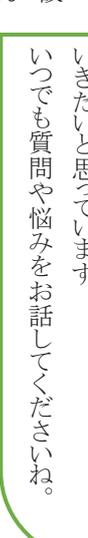
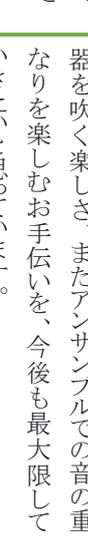
いつでも質問や悩みをお話してくださいね。

会員さんへのメッセージ

皆さんの温かさがクラスに反映され、とても良い雰囲気です。自分の理想の音を求めつつ、楽器を吹く楽しさ、またアンサンブルでの音の重なりを楽しみお手伝いを、今後も最大限していきたいと思っています。

いつでも質問や悩みをお話してくださいね。

→グループでも、個別にも対応、丁寧なレッスン。



北欧・デンマークから学ぶお話し会

オンライン講座



スピーカー：ピーダーセン海老原さやか（デンマーク在住・公立特別支援学校勤務）

2021年5月からスタートし、3か月ごとに開催しているお話し会。
デンマーク在住の日本人で、現役教員・働くママのピーダーセン海老原さやかさんが、オンラインでお届けする生の声。たくさんの方にご参加いただき、2年目に突入します。

2年目からは会の名前を「北欧・デンマークから学ぶお話し会」とリニューアル。

幸福度が高い国と言われるデンマークの日常から、「自立する心の育て方を学ぶ」、参加者同士の対話を取り入れた参加型お話し会です。さらにパワーアップしたさやかさんと、ゲスト対談者の方、参加者の皆さんとの対話を重ね進めていきます。

学びつづけ、伝えつづける。これは生涯学習・社会教育のテーマでもあります。2022年も一緒に学びましょう！

申し込み受付中!!

日時：10月2日(日) 15:00～16:30 ※8/28(日)から日程変更しています。

第6回 テーマ「デンマーク×高齢者」

参加費 2,200円（早割り1,650円 先着20名限り 申込は2日前まで）

学生さんは参加費500円（窓口扱いのみ） ご参加お待ちしております!!

デンマーク王国大使館後援



自然保育ゼミナール 開講

私たちは50年前から野外教育を始め、その流れの中で2009年より『森のようちえん』事業をスタートさせました。

このゼミナールにはこれまでの活動の中で見えてきた大切なことや、私たちがもっと学びたいこと、学びを深めたいことをギュッと凝縮しました。みなさんもぜひ一緒に学びませんか？



▽こんな方におすすめのゼミナールです▽

- “自然保育”というキーワードが気になった方
- 保育園・幼稚園等、保育の現場で自然の中での活動を取り入れたいと感じている方
- 自分の子どもに自然活動を取り入れたい方
- いろいろな人と保育観を深めたい方
- 将来保育士や幼稚園教諭を目指す方

学べるテーマ

- *安全
- *自然との持続可能な関わり方

日程

2022年度を通じ、全9回

各テーマに沿った講座を企画しています。

オンライン講座

・9/5(月)「現場指導者がかつ法的リスクとその準備、心配なこと 一問一答!」 講師:早川 修 氏

・10/16(日)「森でもしものことが起こった時の救助の実際」
※集合研修 講師:井上 恵里 など

その他講座の詳細・お申し込みは、ひの社会教育センターHP

または で検索を。



今回の取材は、6月19日(日)緊急企画「難民を知る、考える。」の講座をレポートしました。ひの社会教育センターでは「緊急企画」として4月にも「子どもの権利条約を考えよう」という講座を実施しました。どちらも、参加者は「市民だれでも」とし、一緒に考え、語る、ワークを取り入れた学習会です。今後も、子どもも大人も共に学ぶ機会をつくっていきます。

←4月「子どもの権利条約を考えよう」講座の様子



賛助会へのご協力ありがとうございます

★順不同・敬称略

- ①個人会員 1口 1,000円
- 赤堀みち子 3口 梅崎清子 3口 大塚喜久子 3口
 - 越智久子 5口 小野口敬一 5口 小俣三千代 3口
 - 笠井純・八重 1口 金子尚弘 10口 金子美千代 3口
 - 川松ゆり 5口 窪田之喜・正子 3口 佐藤ヒサ子 10口
 - 志賀勝子 3口 新保敦子 3口 鈴木あけの 10口
 - 鈴木美奈子 5口 竹林淑江 3口 只木貞吉 3口
 - 鍛代年子 3口 戸枝明美 2口 中野 中 3口
 - 名取潮子 3口 野田君江 3口 原田茂・晴美 5口
 - 原 梢 10口 林 幹高 10口 檜佐やい 3口
 - 廣本隆彦 100口 古谷靖幸 3口 増田幸子 3口
 - 山田佳子 3口 貴志義孝 5口 山田駒平 3口
 - 蜂屋弘之・道恵 10口 小山暁子 3口 姥貝荘一 3口
 - 森 克彦 3口 宮澤百合子 10口 南北敏彦 3口
 - 進 緑 3口 平野紀子 5口 小林直江 10口
 - 遊馬和夫 5口 田中茂登子 3口 矢口政武 3口
 - 長澤成次 3口 近藤一彦 3口 藤井孝男 3口
 - 山下久美子 3口 大矢雪哉 10口
- ②団体会員 1口 5,000円
- いにしえ体操会 2口 かたくり法律事務所 1口
 - 至誠第二保育園 1口 寿楽会 2口
 - 手話ダンスカワセミ 1口 多摩平卓球サークル 18口
 - 多摩平の森自治会 2口 八王子合同法律事務所 1口
 - 日野混声合唱団 1口 日野手品サークル 1口
 - 友遊ケアセンター 2口 (株)アトリエビスタ 2口
 - 野外教育事務所ワンパク大学 1口 (株)アイキャン 2口